

放課後等デイサービス（ リノ ） 事業所評価結果（スタッフ）

配布数

7

回収数

7

回収率

100

%

5

年度

（評価実施日：

令和 6年 4月）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない（わからない）	課題や工夫している点について
環境・体制整備	①	活動スペース等、十分に確保されているか	3	0	4	バギーが増えたことにより圧迫感を感じる時がある。利用者の増加に伴い十分なスペースの確保が難しい場面があるが、分散して活動することで解消している。部屋により何をするための所なのか区切られており、気持ちの切り替えがしやすい環境にある。毎日の利用人数が多いため、全員が集まるオハナの会や活動で椅子を人数分並べると狭くなる。現在はオハナの会は広い部屋を使用し問題は解消している。
	②	設備等にバリアフリー化の配慮が適正になされているか	3	3	1	玄関、おやつ部屋へ入る扉が狭い。玄関とおやつ室に段差があり、バギーの操作方法には配慮が必要であり情報の共有が必要。部屋の内側から鍵をかけてしまうと外側から状況把握が困難だったり、部屋の中が少し暗く感じてしまう。入口にスロープを付ける。
	③	職員の配置数は適切であるか	3	0	4	送迎の出入りが多いため、状況により不足を感じる時があるがフォローし合いカバーしている。食介時等の時間帯により足りなく感じる時間帯がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が意識して取り組んでいるか	6	0	1	会議、終礼、打合せの時間に話し合いを実施している。職員の振り返りも必要に応じて行っている。ピックアップする問題がある場合は週会議時に改めて話し合いの場を設けている。
	⑤	保護者向けの評価表の活用等によりアンケートを実施し保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	毎年実施。意見をもとに業務改善の取組を行っている。物的人的な要望があれば業務改善や支援の質の向上に努めている。保護者からの要望をなるべく取り入れようと思っている。
	⑥	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	HP上で公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	総会などで指摘があれば改善への取組を行っている。定期的にモニタリングを行い、相談員からの助言を頂いたり様子を共有する時間を設けている。外部者が立ち入り事業所の評価はしていない。

	⑧	職員の資質向上を行うために、 研修の機会を確保しているか	6	1	0	全体会(月1回)職員の研修(外部講師を招いて)を定期的実施。 現在の課題や質の向上のためにつながる機会を設けている。 法人として研修計画を立て実施している。
適切な支援の担	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	1	年度初めのサポートブック、そだちの記録で状況を図っている。 保護者より検査結果をお預かりし、職員間で共有している。 リタリコなどを利用し理解を深める。
	⑩	アセスメントを適正に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で個別支援計画を作成しているか	6	0	1	家庭へのアンケートをもとに支援計画を作成している。 サポートブックや、そだちの記録、連絡帳や帰りの引継ぎ時等で意見を参考にしている。 利用者本人の意思や保護者として子どもに頑張ってもらいたい事を組み合わせで作成している。作成にあたり保護者に事前にアンケートをお願いし、意見も取り入れている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで 行っているか	7	0	0	担当職員を中心に会議等で共有、必要に応じ訂正立案を行っている。 子ども達の意見も参考にしつつ活動の内容を作り上げている。 年度末に振り返り、改善や新しい活動について話し合っている。各活動は担当制で、内容を前日に周知しながら行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化されすぎない よう、工夫しているか	7	0	0	職員間で話し合い、利用者の意見も聞きながら活動を決めている。 曜日設定や、終礼での反省点を生かし同じ活動でも内容を変え工夫している。 利用者の特性に合わせてい都度見直し、終礼等で情報の共有を行う。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせ をし、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	7	0	0	昼の打合せ、前日の終礼にて翌日の各々の動きを共有している。 時間が合わない、時間が少ないなどでも打合せ記録を使用したり、声を掛け合い行っている。 紙面で情報共有を行いつつも事前にLINEで情報共有を行っている。 ホワイトボードを利用した役割分担の提示。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ をし、その日行われた支援の振り返り を行い、気づいた点等を共有しているか	7	0	0	決まった終礼時間に合わせ業務を行い、日々取り組んでいる。 終礼にて活動や利用者の特記や今後の対応を共有している。 終礼時間を早め、今までより利用者状況の共有時間を長くとっている。

児 供	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成しているか	6	0	1	家庭とも相談しながら個別、年齢別全体活動とバランスをとる事を心掛けている。 基本的には集団活動がメインとなるが、利用者に応じ個別の対応、年齢や特性を考慮しグループ分けをするなど、活動内容を考え作成している。集団活動にも活かせる内容も作成している。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	0	2	宿題時間や外出、個別課題、手伝いなどを細かく設定している。 平日にはなかなか実現できない内容を長期休みに実施し、子ども達のやりたい！を実現している。 長期休みの活動はいつもより充実している。 楽しい活動ももちろんだが、教育や学びの機会がある活動を増やしたいと考える。
	⑰	日々の活動の様子や支援内容、個人の状況など、記録を取ることを徹底し、報告・支援の検証・改善につなげているか	6	0	1	連絡帳や行動記録、会議録を記載し、後々振り返りの材料としている。 また、個人の特記や活動の様子は終礼記録に残してある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	1	終礼や会議時に定期的に振り返りを行ない、必要に応じて見直しを行っている。 年2回(前期と後期)の個別支援計画書作成前の振り返り時に職員間で情報の共有。成長に応じた支援計画を組み立てており、会議にて1人1人のモニタリングを行い支援計画に反映させている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか (自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)	6	0	1	創作、余暇、運動等、偏りが出ないようにバランス良く活動設定を心掛けている。 地域交流の場は状況に合わせ関わる機会が持てるよう活動に組み込んでいる。 土曜に放デイ営業を行い、普段会わない利用者同士の交流、余暇活動の提供に繋げる事ができた。
	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議やモニタリングには、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が、参画しているか	6	0	1	リーダーや管理者が出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	家庭を通じて、また学校から下校時刻を頂く。 変更の際は連絡、確認を行う等の共有をし、職員間でラインや直接連絡を取り合い速やかに共有を行っている。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる				家庭を通じて情報の共有を行っている。	

関係機関や保護者との連携	⑳	場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	4	0	3	家庭と通して情報の共有を行っている。
	㉑	就学前に利用していた保育園や幼稚園 児童発達支援事業所との間で、情報共有と相互理解に努めているか	5	0	1	引継ぎ資料作成、引継ぎ会議を行なう事で情報共有している。 会議や様子伺いも実施し情報の共有に努めている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報の提供を行っているか	6	0	1	引継ぎ資料を作成し、担当者会議に参加することで情報の共有を行っている。 情報共有の資料、移行会議を行なっている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	3	0	4	直接的な指導は現在はない。 関係機関との共有に努めている。 定期的に相談員のモニタリングを実施し連携を図っている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	2	現在はコロナ渦の影響以来積極的には実施していない。 交流は難しいが、長期休みの活動にて地域の方との交流はある。 公園やウォーキングなどに行った際に交流する機会となっている。
	㉕	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	1	管理者、担当者が参加している。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	1	連絡帳や毎日の家庭への引継ぎ、必要に応じて電話連絡を行う等、課題について共有している。送迎時に様子を共有している。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	6	0	1	毎年保護者向けにペアレントプログラムを実施している。
	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	1	見学、契約時に説明している。 また、契約の前に見学の場を設けている。
保護者	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	1	相談があった際にはすぐに対応。 必要に応じ相談の場を設けている。 電話や懇談、送迎時などに対応を行っている。 その他、終礼等を通して全体で相談について解決案を出し合い、後日改めてお伝えしている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	2	保護者会、事業所見学、親子ふれあいイベント等で交流の機会を設けている。 ペアレントプログラム、保護者会、オハナカフェなど開催。
	㉛	子どもや保護者からの相談や申し入れ等に対し、対応体制を整備（相談窓口の設置や周知）し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応	6	0	1	相談があった際は、職員間で共有を行った上で、すぐに対応するように努めている。 必要に応じ面談を行い相談や申し入れ等に対しては迅速に対応している。

戸への説明等	しているか				
	③④ 定期的に広報誌やホームページ、メールやお知らせ等を通じて、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	6	0	1	ブログやHP等、またEメッセージにてお知らせを行っている。 玄関にも活動写真や制作作品を展示している。
	③⑤ 個人情報等に十分注意しているか (適切な説明・対応・管理をしている)	7	0	0	事業所内でリーダーのみ回覧、全体で共有等情報に留意しながら管理している。 事務所で個人情報を保管する際には、利用者が手の届かない所に保管している。 契約時に同意を得ている。
	③⑥ 障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	1	分かりやすい方法（伝達等）を個人を考えながら使い分けている。保護者の考えに沿った話を心掛けている。 保護者の立場を尊重している。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	4	自閉症啓発デー等、地域への啓発活動に参加している。 和太鼓の活動でも地域イベントに参加している。 地域の店へ買い物体験に行く等、地域に知ってもらう機会を設けている。 コロナ渦で難しい状況ではあったが、本宮夏祭りによさこいとして参加している。 職員の家族を懇親会へ招く。
緊急時の対応	③⑧ 緊急時対応、防犯、感染症対応など、必要なルールやマニュアルを策定し、スタッフや保護者に周知するとともに、訓練や研修等を実施しているか	6	0	1	衛生講座や避難訓練の活動を年間計画に沿って月1回実施。感染症対策も研修を通して理解を深めている。マニュアルを作成し、Eメッセージや書面によりご家庭へ周知している。 消毒品も使用期限の確認を毎月行っている。
	③⑨ 定期的に避難訓練等を行っている (避難訓練の実施について知っている)	7	0	0	毎月1回実施。 人数と環境に合わせ活動を行っている。
	④⑩ 虐待を防止するため、スタッフの研修機会の確保等、適切な対応をしているか	6	0	1	マニュアルを作成し、GSK会議や定期的な全体会において共有しており、日々意識を持って取り組んでいる。 行き過ぎた支援にならないよう見直しを図っている。 研修不参加者にはマニュアルの資料で共有している。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保護者からの同意を得る仕組みを整備しているか	6	0	1	事前に保護者への同意は取っている。 会議で共有した事例をもとに分類を行い、職員間で意識や対応について共有を図っている。 やむを得ず手を引く、抑える等の行動をとった際には保護者に目的や根拠、なぜそうなったのか等を丁寧に説明している。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて	7	0	0	年1回健康調査をもとにアレルギー一覧を作成し、職員間で共有している。 アレルギーのある利用者の情報を冷蔵庫に記載し情報の共有を行っている。

		医師の指示書に基づく対応をしているか				おやつを提供や調理活動時には情報の共有をしている。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	6	0	1	終礼や打合せにて情報の共有。記録にて事例を残し振り返りの材料とする。
満足度	④④	子ども達は、通うことを楽しみにしていると思いますか	7	0	0	日々の支援の中で、明るく楽しい雰囲気を作りをして皆が明日も来たいと思えるようにしているので大丈夫だと思う。送迎時に活動の話を楽しそうにしている。利用者さんやご家庭から直接楽しかった。お礼の言葉を頂ける機会もあり、感謝しています。送迎時に一番に「今日の活動は何？」と、聞いてくれる。利用者から、リノに行きたい。楽しい。と聞く事があり、活動の取り組み方や、職員への接し方を見ると、楽しみにしていると感じる。
	④⑤	この仕事にやりがいを感じ、日々の支援に満足していますか	7	0	0	毎日様々な出来事や経験ができる為、1日ごとに新しい発見が出来て支援が楽しいです。失敗や反省、成功達成の繰り返しで満足感はないが、それこそがやりがいと感じます。子どもの成長を間近で感じられる。日々の支援は向上しなければならない。うまくいく事より、自分の支援が利用者のためになっているか悩み、考える事が多い日々ですが、やりがいは常に感じています。
	④⑥	法人・事業所は、サービスの質の向上を目指し、努力していますか	7	0	0	常に利用者さんやご家庭の意見を大切にし、各種会議においてサービスの向上に努めている。事業所でのチームワークや情報の共有を行っていて、明るい環境設定が出来ていると思う。会議や職員間で話し合い努力している。常に利用者の事を考え、様々な取り組みを行っており、質の向上を続けている。年度末に1年間の振り返りを行っており、新たに行いたい活動などの話し合いを行い、サービス、質の向上を目指している。

スタッフからの意見について

ここで示された課題やコメントに対して、まずはチーム内で共有し、共通理解を図り改善が必要な事項についてはチーム内で検討し改善案をまとめてもらえればと思います。その上でチーム内だけでは改善が難しい事項については運営会議で検討したいと思います。